広報いわき

IWAKI

2026年
11
Vol.724

いわきのおいしい水

特集1　安心安全な水道水をこれからも届けるために

水道の〝いま〟と〝これから〟

私たちが1日に利用する水道水は約230ℓ。500mℓのペットボトル換算で460本分にもなります。いつも身近にある水道水ですが、安全に飲めるようになるまでには多くの過程があります。本特集では、皆さんに安心安全な水道水をお届けするための市の取り組みをご紹介します。

給水のきっかけ

明治39（1906）年、平町で大火事が発生。水不足のため、街のほとんどが焼けてしまったことをきっかけに、水道布設の計画が立ち上がりました。その後、水源地の課題などを乗り越え、大正10（1921）年11月1日、平町に引かれたのが、本市最初の水道です。

それから105年、広大な面積を有する本市は給水区域も広く、水道管の総延長は約2,280kmと、札幌市から那覇市がつながるほどの長さまで拡大。平浄水場、上野原浄水場、泉浄水場、山玉浄水場・法田（はった）ポンプ場の4水系、134カ所の配水池と82カ所のポンプ場から成り立つ、大規模なネットワークを形成しています。

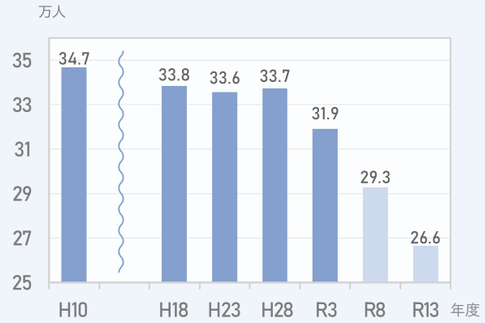
品質にこだわった水道水

水源地から運ばれてきた原水は、取水施設や浄水場、配水池などを通り、各家庭や事業所等に運ばれます。本市では、皆さんに安心しておいしい水道水を飲んでいただけるよう、水質管理センターで法定基準よりも厳しい検査をクリアした水をお届けしています。

近年、全国的に問題となったPFAS※と呼ばれる化学物質のうち、自然界では分解されにくいものとして人の健康への影響が懸念されているPFOA・PFOSの検出値も、いずれの浄水場においても国の水質基準値を下回っており、高い安全性を確保しています。

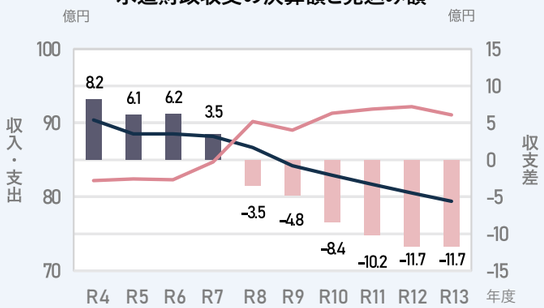
※主に炭素とフッ素からなる化学物質で、一万種以上存在。環境への残留性や有害性が指摘され、国際的に規制されているのはPFOAやPFOSなどの一部の物質。

給水人口の推移



給水人口は平成10年の34.7万人をピークに減少傾向が続いている。令和13年には27万人を割る見込み（令和８年度以降は推計値）。

水道財政収支の決算額と見込み額



給水人口の減少に伴い、収入も減少。現在の料金体系を維持すると、令和８年度を境に支出が収入を上回り、赤字となる見込み。

岐路を迎える水道経営

一方、人口減少の波は水道行政にも大きく影響を与えています。給水人口の減少により、収益は減少傾向。高度経済成長期に布設が進んだ水道管も、50年以上が経過し老朽化が深刻な状況にあります。

また、地震が起きても壊れにくい水道管への入れ替えを計画的に進めていますが、総延長の長さからコストもかかるのが実情です。

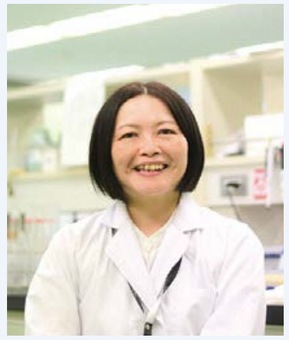
水道事業は皆さんから頂いた水道料金でサービスを提供していますが、これらの人口減少、施設の老朽化、そして資材等の物価高騰などを踏まえ、今年９月、市水道事業経営審議会から、今後の水道事業経営について、料金見直しに係る答申がなされました。今後は答申を踏まえ、料金改定について検討していきます。

審議会の答申内容

いわき水みらいビジョン2031の取り組み状況や水道料金水準などの見直しについて、答申がなされました。

詳細こちら▶

水道局経営戦略課
☎22-9310



水質管理センター
竹内専門技術員

日常を支える最後の砦

市民の方だけでなく水道局や市の職員でも、実際に目にする機会はほとんどない業務ですが、本市では浄水処理から水質検査まで、全ての工程を「自前」で管理しているのが大きな強みです。

水道水の原水となる市内の河川水・地下水の水質検査も行っており、浄水処理に注意が必要な状況かどうかを確認し、万が一の水質変化にも迅速に対応できるような体制となっています。自前の検査室があるからこそ、より効率的に安全な水道水の提供ができると考えています。安全な水を安定して届けるため、市民の皆さんの日常を支える「最後の砦」として、これからも正確な検査を行っていきます。

緊急時にも水を届けるため

水道水は、お住まいの地域によって給水元の浄水場が異なります。地域の浄水場が使えなくなると断水が起きていたのですが、その不便を解消するため、現在は浄水場水系同士が水を融通し合える仕組みの構築を進めています。

現在整備中の中部配水池は、泉浄水場から配水している常磐地区に、平浄水場からの配水を可能とする施設で、完成すれば、災害時の断水被害を最小限に抑えることが可能です。大規模災害はいつ起こるか分からないからこそ、安心につながる施設整備に携わっていることにやりがいと責任を感じています。緊急時にも、市民の皆さんにいち早く安心して水をお届けするため、中部配水池の早期完成を目指していきます。

配水課
司馬技査

5

4

6

4 5 6 水質管理センターでの検査は200項目以上に上る

3

1

2

1 2 整備が進む中部配水池　3 水道管の布設替え

水道局では「安全」「強靭」「持続」の3本柱のもと、水質検査や施設の維持保全、イベントや市民への説明会、SNS等を通じた情報発信などを行い、将来にわたり安定的に配水することを第一に経営を進めています。

東日本大震災や令和元年東日本台風では、市内各地で断水が発生しました。この教訓から、平常時だけでなく、災害や事故が発生した際にも滞ることなく配水するため、強固なバックアップ体制を構築しているところです。

また、地震に強い水道管への更新や、災害時に医療機関などの重要施設に確実に配水するための工事も実施中です。

水道は、生活を支える生命線です。地震や大雨などの緊急時だからこそ、いつもどおりに水が出るだけでほっとする。その安心感を、どんなときでもお届けするため、これからも、着実に努力を積み重ねていきます。

▲中部配水池を整備し、互いの水道水を融通

災害に強い水道へ

いわき市長
内田　広之

東日本大震災による管路などからの漏水、令和元年東日本台風における平浄水場の浸水等により、市内の広い範囲で断水が発生しました。これらの災害に対応するため、一つの浄水場が被災しても、他の浄水場から水を送れる仕組みづくりを進めています。

市内では、二つのエリアで水の融通に課題がありました。一つは、平浄水場と上野原浄水場の融通と、平浄水場から中央台・小名浜方面への送水です。これらに必要な水道管やポンプ場などの整備は既に完了しています。もう一つは、鹿島・常磐地区間での水の融通です。実現に向け、水道管や中部配水池の整備を進めており、令和10年度の完成を目指しています。

今後も、市内全域で災害に強い水道の整備を進めていきます。

特集２　家族も先生も、すべての大人へ

知ってラクになる子育てのこと

こどもの困った行動に、ついついイライラしたり、怒りすぎて自己嫌悪。そんな経験をしたことはありませんか。
本特集では、こどもに関わる全ての方に知ってほしい、大人も子もラクになる子育てのヒントを紹介します。

あなたはどっち!?こどもへの声かけチェック

	— NG —	— GOOD —
宿題してほしいとき…	☐「最後まで終わってないよ！」	☐「やり始めたね、半分までできたね！」
お着がえしてほしいとき…	☐（遠くから）「早く着がえなさい！」	☐（近づいて）「お着がえはじめます」
待っていてほしいとき…	☐「ちょっと待ってて！」	☐「このおもちゃで遊んで待っててね！」
お片づけしてほしいとき…	☐「片づけるの?片づけないの?どっち?」	☐「一人で片づける？一緒に片づける？」

こどもの困った行動＝こども自身も困っている

「子育ての悪循環」を断ち切るために

こどもは、何が正しい行動かを学んでいる途中。大人からほめられることで「今の行動は正しかったんだ」と気付き「またやってみよう！」と意欲が増します。大人による『ほめる＝こどもに注目する力』は、子育ての悪循環を断ち切る力※を持っています。

※子育ての悪循環を解消し、親も子も楽しく成長していくための講座形式のプログラムのことを「ペアレント・トレーニング」といいます

子育てサポートセンター　☎27-8599

子育てサポートセンターには、心理士・保健師・保育士など、こどもに関わる専門職が在籍しています。各地区保健福祉センターと連携し、乳幼児期の子育てに関する悩みや困りごとについて、家族や支援者からの相談に応じ、助言や情報提供などを行っています。

子育てのヒント

子育てサポートセンターでは、ペアレント・トレーニングを参考に、誰でも気軽にそのエッセンスに触れられるよう「子育て10のヒント」を作成しました。子育てをがんばっているあなたの毎日が少しでもラクになるよう、子育ての楽しさを思い出すヒントをぜひ家族でご覧ください。

【子育て10のヒント】
▲漫画版　▲動画版

配布場所　子育てサポートセンター
各地区保健福祉センター健康係

子育て10のヒントを少しだけ紹介

“25%ルール”でほめる
- 100%の結果だけでなく、経過にも注目する
- 少しでもできたところに気づいてほめる

CCQを心がける
- Close（近づいて）Calm（穏やかに）Quiet（静かに）で伝わりやすくなる

指示は具体的に
- あいまいな表現は伝わりにくい
- こどもがイメージできるように伝えるとGOOD！

選択してもらう
- どちらを選んでもいい選択肢を提示する
- 「選ぶ権利」でこどもは尊重されたと感じられる

NG例を見て「あるある、こんな時！」とクスッと笑ったり、GOOD例を見て「こんな方法を知りたかった！」とヒントを得たり。この「子育て10のヒント」を親子がラクに楽しく暮らすために、ぜひお役立てください。

子育てサポートセンター　山野辺主任心理判定員▶

「これでいい」を知ってラクになる　Interview

下山田　麻紀さん
一男一女の母。2019年に子育てサポートセンターでペアレント・トレーニング講座を受け実践。

初めての子育ては誰に相談したら良いかわからず、とにかく必死でした。気付いたら「何でできないの！」が口癖になり、自己嫌悪に陥っていたとき出会ったのが「こどもへの向き合い方を変える」という考え方です。

一番変わったのは「ほめ方」。言葉を飾らなくても、行動を良く観察し、具体的に「〇〇できたんだね」と伝えるだけで良いのだと初めて知りました。

SNSを覗けば情報が溢れている今、子育てに悩んでいる方は今すぐ結果を求めたいかもしれません。大切なのは、こどもの行動を変えようとすることでもなく、親自身が大きく変わることでもなく、こどもへの向き合い方を少し変えてみること。その手掛かりが「子育て10のヒント」には詰まっています。

今子育てに悩んでいる方も、必ず味方はいます。気負わずに「これでいい」という気持ちで、今しかない子育てを楽しんでほしいです。

子育てサポートセンターによるペアレント・トレーニング講座の様子▲

特集 3

未来の選択肢に、「市職員」という仕事

どんな仕事をしたいのか。どんな職場で働きたいのか。就職を考える学生にとって、実際の仕事を体験できるインターンシップは、将来を考える大きなきっかけになり、市役所でも幅広い部署で受け入れています。

本特集では、この夏、市役所のインターンシップに参加した学生の皆さんの体験や率直な声をご紹介します。

土木部では「土木の多彩な魅力に出会ってほしい」との思いで、部内のさまざまな仕事を体験できる横断的なインターンシップを実施しています。リアルな現場や先端技術に触れ、職員との本音トークで、土木の仕事への理解を深めます。参加者の興味や希望に合わせたプログラムで、将来の働く姿をイメージするきっかけをつくります。

Intern Schedule -5 Days-

Day 1

土木行政の仕事を知る

- ■**土木政策課**　市役所全体や土木部の業務を学び、土木行政の役割を理解。
- ■**用地管理担当**　法律に基づく許認可や境界査定など、日常を守る手続きを学ぶ。

Day 2

工事発注・現場監督を体験

- ■**建設事業課**　道路や河川改良工事の疑似体験を通し、設計や積算など工事前の仕事を学ぶ。また、進捗確認などの現場監督の業務も体験。

Day 3

道路を守る仕事を体験

- ■**維持保全課**　道路補修や街路樹空洞化の点検・診断を体験。日常的な維持管理を通し、安全で快適な道路環境を支える業務について学ぶ。

Day 4

インフラを長く使う工夫・先端技術の活用を学ぶ

- ■**維持保全課**　道路構造物を安全に長く使い続けるための取り組みを学ぶ。
- ■**河川政策担当**　河川水位AI予測システムなどの先端技術について学ぶ。

Day 5

職員との意見交換・成果発表

学校OB･OG職員との入庁時の思いや、やりがいなどの意見交換後、５日間の学びの成果を発表。日常を支える仕事への理解を深め、インターンシップ終了。

鈴木 菜生 さん

Host Office

土木部　土木政策課　ほか４課

１つの課だけではなく、土木部という大きな枠組みで仕事を体験できることに魅力を感じて参加しました。

道路や橋など、自分が関わったものが形として残ることを、実際の補修工事を通して実感しました。土木業界でもAIの活用が進んでいます。専門知識を身に付け、将来に生かしたいです。

田子 温也 さん

Host Office

総合政策部　市長室　広報広聴課

デスクワークや定型の業務が多いイメージでしたが、実際は取材などで外に出る機会も多く、人との関わりを大切にしていると感じました。広報紙の写真撮影やインタビューも経験し、公務員の仕事を知ることで、将来の進路を考えるきっかけになりました。

Intern Schedule -5 Days-

Day 1

広報の基本を学ぶ

市が目指す広報の在り方や広報紙の制作方法、各種広報媒体について学ぶ。また、一眼レフでの写真撮影を体験したほか、SNS動画撮影の取材先を検討。

Day 2

情報発信の現場を知る

市長記者会見を見学し、行政と報道機関との関係性や、市政情報をわかりやすく市民に発信するまでの流れを学ぶ。広報いわきを紹介するラジオにも出演。

Day 3

実際の取材に挑戦

SNSや広報紙の記事作成に向けて、取材に挑戦。撮影やインタビューを通して、話の引き出し方や、読者の視点に立った情報の集め方を実践的に学んだ。

Day 4

広報用ＳＮＳ動画の作成

撮影した動画をもとに、SNSで発信する動画を制作。構成や見せ方、伝えたいポイントを職員と一緒に考えながら、SNSの特性を生かした情報発信を実践。

Day 5

成果を発表

制作した動画を課内で発表。インターンシップを通して体験したことや気付いたことを整理し、５日間を振り返りながら最終報告を行った。

TOPICS 1

市制施行60周年記念式典を開催

お問い合わせ
総務課　☎22-7401

10月1日に開催した市制施行60周年記念式典において、特別表彰および令和８年市政功労者表彰を行いました。このほか、第108回全国高等学校野球選手権大会で活躍した東日本国際大学附属昌平高等学校硬式野球部に対し、感謝状を贈呈しました。

市制施行60周年記念特別表彰

・写真は、表彰式に出席された方
・氏名は、部門ごとに五十音順、敬称略
・自治功労のうち※の方は、社会福祉功労も併せて受賞

■市外在住者（文化振興・産業振興）（３名）

井上　直美（東京都）【産業】
神山　敬章（埼玉県）【文化】
故 田口安男（千葉県）【文化】

■歴代市長および歴代市議会議長（３名）

大峯　英之（平）
清水　敏男（常磐）
菅波　　健（平）

令和８年市政功労者表彰

■自治功労（10名）

鵜沼　一好　（平）
雲藤　行夫※（常磐）
國井　義人　（小川）
小松　博之　（平）
鈴木　一榮　（内郷）
鈴木　伸也　（平）
鶴山　甚榮　（平）
野木　義弘※（常磐）
松本　智弘　（小川）
八代　孝仁※（常磐）

■社会福祉功労（11名）

石川　新次（小名浜）
佐藤　敏文（四倉）
下遠野秀文（常磐）
菅波　勘二（平）
鈴木　　尚（平）
相馬　俊之（好間）
髙島　秀樹（好間）
根本紀太郎（平）
野口　由吉（三和）
村上　成雄（小名浜）
山際　一浩（平）

■ボランティア功労

華道家元池坊　平支部
藤本社中（小川）

■教育文化功労

故 灘波　幸子（東京都）

市制施行60周年記念感謝状贈呈

東日本国際大学附属昌平高等学校　硬式野球部

市長メッセージ

特別表彰並びに市政功労者表彰を受賞される皆様に、心からお祝いを申し上げますとともに、各分野において、長年にわたり、本市の発展に格別の御尽力を賜りましたこと、衷心より、敬意と感謝の意を表します。

引き続き、幸せを実感できるまちづくりに全力で取り組んでいきますので、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

Host Office
消防本部　平消防署

中村 文哉 さん
幼い頃から消防士に憧れ、父の勧めもあって参加しました。訓練への参加が楽しみでしたが、防火服と長靴を着用したシャトルランは大変でした。消防士のイメージが具体化され、憧れが強くなりました。

篠﨑 涼 さん
体力には自信がありましたが、合計約50kgの装備や荷物を持って４階まで上がる訓練は想像以上に過酷でした。消防隊員の真剣な姿から、日頃の鍛錬や連携の大切さを学ぶことができました。

Intern Schedule -1 Day-

8：20～	24時間勤務の引継ぎの様子を見学
8：30～	各車両の無線交信体験など
9：15～	車両の資器材点検体験など
11：00～	火災予防のための防火査察など
13：00～	防火服の着装・放水体験など
14：45～	救助活動体験など
16：15～	防火服を着用した体力づくりなど
17：00～	振り返り

▲放水体験

▲救助活動体験

■その興味を次の一歩へ

お問い合わせ　人事課　☎22-7403

市役所には、一般事務職、技術職、消防職など、市民の暮らしを支えるさまざまな仕事があります。
皆さんも、いわきの未来を築く「市職員」として、活躍してみませんか。

《参考》令和９年度（令和８年度実施）市職員採用試験スケジュール

令和８年	３月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月
先行枠	募集受付	一次試験	最終試験	合格発表						
大卒程度等		募集受付		一次試験		最終試験	合格発表			
高卒・短大卒程度						募集受付		一次試験	最終試験	合格発表

※　令和10年度採用（令和９年度実施）市職員採用候補者試験等のスケジュールは上記と異なる可能性があります
※　インターンシップへの参加実績は、申込資格や採用試験の合否には影響しません

職員採用情報サイト
採用試験情報から職員インタビューまで、さまざまなコンテンツをご用意しています。
将来の進路を考えるきっかけにぜひご覧ください。

TOPICS 2

総合防災訓練（地震・津波編）

お問い合わせ
災害対策課　☎22-1153

激甚化・頻発化する自然災害から命を守るためにできること。それは、日頃の備えから始まります。防災訓練もそのひとつです。自分の命、大切な人の命を守るため、ぜひ、訓練に参加しましょう。

開催日時　**11月14日(土)**　8：30～11：30
※予備日：11月15日(日)

※当日は８時30分に沿岸部のサイレン吹鳴や防災メール発信を行います

各地区本部における訓練実施概要

どなたでも自由に参加可能で事前申込も必要ありません

地区	会場	主な内容
平	藤間中	健康ぼうさい体操
	いわき市民プール	ペット同室避難訓練、防災講話
小名浜	小名浜海星高校	応急手当訓練 災害時の防犯対策講話
勿来	植田中	ハイブリッド自動車などを活用した避難生活改善訓練
常磐	関船体育館	防災ワークショップ
内郷	内郷二中	給水車による給水訓練
四倉	大浦小	炊き出し訓練 水素自動車からの電源活用訓練
遠野	旧入遠野小	応急手当訓練

地区	会場	主な内容
小川	江田・牛小川集会所	応急手当訓練
好間	好間一小	耐震性貯水槽からの給水訓練 トイレカー展示
三和	三和ふれあい館	防災講話
田人	㈱磐城高箸(旧南大平分校)	災害図上訓練
川前	川前公民館	防災教室 (防災クイズなど)
久之浜大久	久之浜中	炊き出し訓練

日頃の備えや訓練の詳細はこちら▶

TOPICS 3

インフルエンザを予防しましょう

お問い合わせ
感染症対策課　☎27-8606
こども家庭課　☎27-8597

インフルエンザは、非常に感染力が強く、一旦流行が始まると短期間で多くの人へ感染が広がります。
特に、今年は例年より早い時期から感染が拡大していますので、基本的な感染対策の徹底をお願いします。

マスクの着用

- くしゃみや咳が出るときは、しぶきにウイルスが含まれている場合があるため、咳エチケットを心がける

手洗い・手指消毒

- 30秒ほどかけ、石けんと流水で洗う
- 手洗いができない場面では、消毒液を20秒以上、乾燥するまで擦り込む

換気・湿度の維持

- エアコン使用時も十分に換気する
- 乾燥しやすい室内では、加湿器などで適切な湿度（50～60%）を保つ

ワクチン接種　子どもや高齢者に対し、予防接種の助成を行っています。
▲子ども　▲高齢者

市内の流行状況　週1回、市公式ホームページにて掲載しています。

TOPICS 4

第56回 市民美術展覧会

お問い合わせ
市立美術館　☎25-1111

いわき市民や本市にゆかりのある方が応募する作品を、市立美術館に展示します。期間中には部門ごとにイベントも開催しますので、ぜひお越しください。

市美展

会期
- 書の部：11月13日(金)～11月22日(日)
- 絵画・彫塑の部：11月27日(金)～12月６日(日)
- 陶芸の部および写真の部：12月11日(金)～12月20日(日)

※休館日　毎週月曜日。ただし、11月23日（月祝）は開館し、翌24日(火)は休館
※開館時間　9：30～17：00（最終入場16：30）
※観覧料　無料

会期中のイベント

- 書の部：**「招待作家による揮毫(きごう)会」**11月15日(日)　11：00～
  「高校生による書道パフォーマンス」11月21日(土)・22日(日)　13：30～
- 絵画・彫塑の部：**「招待作家による入選作品批評会」**11月28日(土)　10：30～
- 陶芸の部：**「タッチコーナー」**12月13日(日)　13：00～15：00、12月20日(日)　10：00～14：00
- 写真の部：**「招待作家による作品解説会」**12月13日(日)　13：00～

作品の募集について

展示作品の募集を行っています。皆さんからのご応募お待ちしています。

応募資格　市内に住居を有する方、もしくは市内への通勤、通学者、および本市出身者（過去に在住・在勤・通学していた方を含む）。ただし、中学生以下の出品は不可。

出品手数料　一般　2,500円　/　青少年（20歳未満）　500円

搬入方法　申込用紙に必要事項を記入の上、市立美術館搬入口から搬入してください。

部門	搬入日	公募要項
書の部	11/10(火)　13：00～16：30	●各部１人１点。 ●未発表の創作作品に限る。 ●模写による作品は出品不可。ただし、各部において未発表でなくても出品できる場合あり。 ※詳しくは二次元コードで
絵画・彫塑の部	11/23(月祝)　10：00～17：00	
陶芸の部	12/８(火)　10：00～17：00	
写真の部	12/８(火)　10：00～17：00	

FMいわき開局30周年記念イベント
30年のありがとう！

いわき芸術文化交流館アリオス　9/13㈰

＼感謝を胸に、これからも情報を発信／

いわきを「こえ」で支えてきたコミュニティ放送「FMいわき」が９月１日に30周年を迎えました。

記念イベントでは、番組の舞台裏や30年の歩みを振り返るユーモア溢れる熱いトークが繰り広げられ、会場は笑顔と拍手に包まれていました。

また、今年３月、FMいわきがNHK「新プロジェクトX」で紹介されたことから、メインキャスターの有馬嘉男氏などをゲストに招いたトークショーも行われ、観客は熱心に耳を傾けていました。

31万人のまちづくりビジョン策定プロジェクト
未来ビジョン公表イベントを開催

Paix Paix(ペッペ)　10/3㈯

＼市民の「こえ」で描く、私たちの未来／

本市の今後のまちづくりの柱となる「未来ビジョン」公表イベントは、吹奏楽団いわきシンフォニックウインドアンサンブルによる「いわき市歌」から幕が開けました。ビジョン策定に携わったメンバーから、決定に至るまでの経緯や思いが語られたほか、本紙でもおなじみのいわき地域学會小宅幸一氏の歴史講座なども開催しました。

本イベントをスタートに、これからも市民の皆さん一人一人の「こえ」を集め、ビジョンを育てていきます。

写真が語る「いわき」の歴史　通称名から行政名へ、「六町目」

いわき地域学會　小宅幸一

江戸時代から商店が林立していた、平の商業中心地・一町目から五町目の区域は、時代の波をくぐりながら、明治時代から大正時代へ一層の賑わいをみせました。一方、五町目から東は江戸時代には立町（たつまち）、さらに正月町（しょうがつまち）、禰宜町（ねぎまち）と浜街道に沿って家屋が続いていましたが、地味な存在でした。

大正時代になると、好景気を背景に立町、正月町、禰宜町の国道から離れた背後地にも開発が進むようになりました。住民など関係者は一町目から五町目までのにぎわいにあやかろうと、五町目に続く区域を六町目、七町目と改称するよう要望しました。

このことから、大正８（1919）年８月開会の平町議会において、禰宜町と正月町にまたがる立町の一部を字六町目、正月町にまたがる禰宜町の一部を字七町目へ改称することを決めました。

今と異なり、当時は福島県の承認が必要となっており、平町は変更申請を提出しましたが「縁故ヲ有（えんこゆう）セザル改称ハ詮議（せんぎ）シ難（がた）キ」、つまりこれまでと縁のない地名は認められないとされました。

以降は長い間、通称として使われざるを得ませんでした。古い地図をみると、六町（丁）目、七町（丁）目の地名が見えますが、正式地名ではありませんでした。正式字名として六町目を迎えるには、平成10（1998）年の土地区画整理事業の施行に伴う字名改称まで待たなければなりませんでした。

なお、一町目から五町目までは「字」が付きますが、新たな六町目には「字」は付けられませんでした。このときに由緒ある立町の字名は消失しました。

■写真　行政名は平字立町であるが、写真右隅に「六丁目」が見える
［昭和17（1942）年９月　国道工事事務所提供］

炭鉱（ヤマ）の終わり―常磐炭礦 西部礦閉山50年―

石炭・化石館 ほるる　☎42-3155

いわきの炭鉱の歴史は、昭和51年（1976年）の常磐炭礦西部礦業所の閉山によって終焉を迎えました。2026年は、閉山からちょうど50年という節目の年にあたります。本展では、当時の様子を伝える写真や資料をはじめ、採炭終了時に掘り出された「最後の石炭」などを展示。時代の転換期となった「ヤマの終わり」の記憶を振り返ります。

期　　間　11/7㈯～来年２/14㈰
場　　所　石炭･化石館　ほるる（常磐湯本町向田３-1）
料　　金　一般660円、大高中生440円、小学生330円
休 館 日　毎月第３火曜日及び１月１日
開館時間　９：00～17：00（受付は16:30まで）

●講演会（各回13：30～15：00）

11/29㈯　石炭・炭鉱の時代と常磐炭田
講師 小宅幸一氏（常磐炭田史研究会副会長）
定員 50人（要予約）

12/20㈯　炭鉱映像上映会
講師 渡辺文久氏（同館学芸員）
上映会終了後、ギャラリートークを行います
定員 20人（予約不要）

１/24㈯　炭鉱の思いで
講師 末永秀憲氏（炭鉱OB）
定員 20人（予約不要）

市産木材PRイベント「WOODY IWAKI 2026」

林業振興課　☎22-1181

市民の皆さんに森林の持つ多面的機能や林業･木材産業などの理解を深めていただくことを目的にしたイベントです。当日は、市産木材を利用した木工工作やけん玉など、親子で楽しめる体験コーナーをご用意しています。この機会にいわき市産の木材に実際に触れて、その温もりを感じてみてください。

日　　時　11/21㈯　９：00～15：00
場　　所　小名浜潮目交流館（小名浜字辰巳町43-９）
内　　容　⑴体験コーナー
・いす作り、箸作り、けん玉、木製玩具　など
⑵展示コーナー
・木工工作コンクール受賞作品
・パネル展示（林業アカデミーなど）
・PR動画上映　など

▲過去開催時の様子

▲過去開催時の様子

いわき七浜さかなの日大感謝祭

水産振興課　☎22-7487

毎月７日は「さかなの日」！日頃のご愛顧に感謝を込め「いわき七浜さかなの日大感謝祭」を開催します。いわき市にちなんだ魚食のふるまいや、常磐ものを楽しめるイベントを実施します。魚の魅力を存分に楽しめる機会ですので、ぜひお越しください。

日　　時　11/21㈯　９:00～15:00
場　　所　道の駅いわき･ら･ら･ミュウ（小名浜辰巳町43-1）
内　　容　⑴魚食ふるまい
・サンマのみりん干し（予定）300食
⑵常磐ものイベント
・模擬セリ　魚の重さを予想して、一番近かった参加者に豪華景品をプレゼント
・おさかなタッチ　常磐ものや珍しい魚を触って観察できます

案　内

11月の第３水曜日は世界COPDデー

保健所地域保健課　☎27－8594

COPD（慢性閉塞性肺疾患）とは、別名「たばこ病」とも言われ、たばこの煙などの有害物質を長期に吸入することで生じる肺の病気の総称です。

禁煙で発症を予防し、進行を食い止めることができます。この機会に、禁煙について前向きに考えてみませんか？

12/１は世界エイズデー

保健所感染症対策課　☎27－8606

匿名・無料で受けられる検査を行っており、結果は当日に分かります。また、平日のHIV検査に加え、休日も受検できるエイズデー検査を実施します。

日時

HIV 検査	毎週月曜日	9：00 ～ 14：30
エイズデー検査	12/５(土)	

※梅毒・B型肝炎・C型肝炎の同日検査も可

※第２・４月曜日は夜間検査も実施（17：00～18：30）

場所　総合保健福祉センター

申込方法　同課へ電話で（要予約）

11月はオレンジリボン・児童虐待防止推進月間

こども家庭課　☎27－8596

児童虐待は、早期の発見・対応が重要です。虐待が疑われる場合は、相談・通告窓口に連絡してください。なお、相談や通告をした方の情報は、固く守られます。

相談・通告窓口	電話番号
平地区保健福祉センター	22－7457
小名浜地区保健福祉センター	54－2116
勿来・田人地区保健福祉センター	63－2117
常磐・遠野地区保健福祉センター	43－2116
内郷・好間・三和地区保健福祉センター	27－8691
四倉・久之浜大久地区保健福祉センター	32－2114
小川・川前地区保健福祉センター	83－1329
こども家庭課	27－8596

この欄は広告です。

お知らせ

市政情報番組

テレビ

▶福島放送	11月14日(土)	9：55～
	12月12日(土)	9：55～
▶福島中央テレビ	11月21日(土)	9：25～
▶福島テレビ	11月22日(日)	13：55～
▶テレビユー福島	11月28日(土)	9：25～

ラジオ

▶いわき市民コミュニティ放送（76.2MHz）

いわきWith

毎週月曜日　19：00～19：30

毎週金曜日　13：00～13：30（再放送）

毎週土曜日　８：30～９：00（再放送）

GOOD DAY いわき プラス

月～金曜日　７：45～／12：10～（再放送）

▶ラジオ福島（1431KHz・90.2MHz）

第２・第４土曜日　８：35～

今月の納期（納期限11月30日(月)）

個人事業税	第２期
国民健康保険税	第５期
後期高齢者医療保険料	第４期
介護保険料（第１号被保険者）	第５期

いわき市の人口（令和８年10月１日現在）（前月比）

・人　口	309,414人	（－ 244）
・男	151,795人	（－ 149）
・女	157,619人	（－ 95）
・世帯数	141,183世帯	（－ 35）

いわき市公式 SNS

ライン　フェイスブック　エックス　ユーチューブ

市ホームページより各種SNSの登録・フォローができます

いわき市総合コールセンター

電　話　0246-22-1111

ＦＡＸ　0246-22-1113

受付時間　平日　８：30～19：00

土日祝　８：30～17：00

よくあるお問い合わせはこちら

1 いわきコンピュータ・カレッジ

申込方法　いわきコンピュータ・カレッジ（泉町四丁目13-12）へ（窓口☎FAX✉可、オープンキャンパスは申込フォームも可）

☎ 56-0711　FAX 56-0751　✉ info@iwaki-cc.ac.jp

区分	内容	日程	時間	料金	受付期間
オープンキャンパス	入試説明・施設見学など	11/28(土)	9：00～12：00	無料	当日受付可
第３期入学試験（指定校推薦・推薦・一般）	書類審査・面接試験	12/16(水)	9：30～12：00	10,000円（要件を満たせば無料）	11/24(火)～12/８(火)

2 リサイクル教室

申込方法　11/20(金)必着で、往復ハガキの往信欄に教室名・郵便番号・住所・氏名（フリガナ）・年齢・電話番号を記入し、返信欄に自分の宛先を明記して、〒972-8337　渡辺町中釜戸字大石沢24-1　クリンピーの家へ（申込フォーム可）※応募多数時抽選

☎ 56-3651

教室名	内容	日程	時間	定員	料金
ちりめん細工の干支人形作り	古布や余り布を縫い合わせ、来年の干支（未）の人形を作ります	12/3(木)	9：00～12：00	10人	500円
リサイクル素材で冬飾り作り※	松ぼっくりのミニツリーとラップ芯のミニ門松を作ります	12/12(土)	9：30～12：00	6人	無料
竹で干支の置物作り	竹で来年の干支（未）の置物を作ります	12/15(火)	9：00～11：30	10人	300円
ミニ門松と竹の花器作り	竹で一対のミニ門松と花を飾る花器を作ります	12/23(水)	9：30～14：30	10人	2,000円

※対象は、小学３年生以上（成人の方のみの参加可。小学生は保護者同伴）

3 フラワーセンター

申込方法　11/15(日)９時から、フラワーセンター(平四ツ波石森116)へ(窓口☎可) ※先着順

☎ 22-5667

教室名	日程	時間	定員	料金
ペーパークラフトでお正月飾り	12/５(土)	10：00～12：00	6人	2,000円
クリスマスリース作り	12/６(日)	10：00～12：00	10人	3,000円
タッセル・フラワーアレンジメント	12/12(土)	10：00～12：00	10人	2,300円
長く飾れる季節のアレンジ	12/13(日)	10：00～12：00	８人	2,000円
ガラスの小皿作り	12/13(日)	13：30～15：30	10人	2,000円
生活インテリア雑貨作り Vol.９「お正月　二重〆飾り作り」※	12/13(日)	13：30～15：30	10人	3,000円

※申込期限は12/６(日)。なお、12/６(日)からキャンセル料（全額）がかかります

4 市民講座

申込方法　11/20(金)必着で、ハガキに講座名・住所・氏名（フリガナ）・年齢・性別・勤務先（市外在住の方）・電話番号を記入し、〒970－8026　平字一町目１　生涯学習プラザへ（窓口 FAX ✉ 申込フォーム可）※応募多数時抽選

☎ 37-8888　FAX 22-5555　✉ info@isgp.jp

講座名	日程	時間	定員	対象
クリスマスリースづくり※	12/12(土)	10：00～12：00	10組	小学生と保護者
いわきの民俗	12/13・27、1/10・24の日曜日（全４回）	14：00～15：30	30人	18歳以上の方
ラベル作成講座	12/20(日)	10：00～12：30	10組	幼児・小学生と保護者
初心者向け資産形成講座１	12/26(土)	13：30～15：00	20人	18歳以上の方

※別途教材費（800円）がかかります

いわきタベスケ１周年イベント「ごちそうレスキューラリー」

資源循環推進課　☎22－7559

いわきタベスケに出品された商品を購入してスタンプを集めると、先着100名様にライスレジン製オリジナルタンブラーをプレゼントします。

開催期間　～12/31㈬
（景品申込期間は来年１/29㈭まで）

参加方法　対象店舗または同課から台紙を入手し参加

申込方法　スタンプを10個押印した台紙を同課へ持参

※１会計につき、スタンプは１個

※２店舗以上の利用が必要

※注意点など、詳しくは二次元コードで

福島県最低賃金が10月16日から変わりました

福島県労働局労働基準部賃金室　☎024－536－4604

■時間額1,094円

時間額1,033円から61円引き上げられました。詳しくは、同賃金室または、各労働基準監督署へお問い合わせください。

■支援助成金など

賃金の改定に対応して引き上げを行う場合には、「賃上げ」支援助成金などをご利用ください。

詳しくは、福島労働局雇用環境・均等室☎（024-536-2777）または、福島県職業対策課☎（024-529-5409）へお問い合わせください。

青色申告特別控除の見直し

いわき税務署　☎23－2141

令和８年度税制改正により、令和９年分確定申告以降、個人事業主の方などの青色申告特別控除の見直しが行われます。

適用をご検討の方で対応がお済みでない場合は、お早めの準備をお願いします。

【主な改正事項】

・複式簿記による青色申告特別控除（75万円または65万円）の適用は、e-Taxが要件となります。

・簡易簿記による青色申告特別控除（10万円）の適用は、前々年の収入が1,000万円以下の方等に限定されます。

その工事、アスベストが含まれていませんか？

環境監視センター　☎54－1585

アスベスト（石綿）は現在、製造・使用などが禁止されていますが、一般の住宅にもアスベストを含む建材が使われていることがあります。建物の壁や天井を取り壊したり、切断したりする場合は、建材にアスベストが使用されていないか、有資格者による事前調査が必要ですので、ご注意ください。

公立小・中学校の就学費用を援助

学校教育課　☎22－1123

経済的な理由により、お子さんを公立の小・中学校へ就学させるのが困難と認められる方を対象に、入学にかかる費用の一部を入学準備金（定額）として支給します。

支給金額　①新小学1年生＝64,300円
②新中学1年生＝81,000円

申込方法　通学予定または現在通学している小学校から配布される申請書に必要書類を添えて、①指定された通学区域の小学校へ、②現在通学している小学校へ

申込期限　来年１/７㈬

市バス無料デーを開催

公共交通課　☎22－1120

普段公共交通機関を利用しない方や、自動車利用が多い方に、路線バスを利用していただき、バスを身近に感じるきっかけを作ることを目的としてバス無料デーを開催します。

開催日　12/17㈬

対象路線　新常磐交通㈱が運行する市内発着の路線バス全線（高速バス・観光バスを除く）

その他　当日バスに乗車した方が市内の施設、飲食店などで特典を受けられる企画も開催予定です。

ルート・ダイヤ検索は「JOKOバスくる」またはグーグルマップが便利です。

※詳しくは、市ホームページで

この欄は広告です。　内容についてのお問い合わせは直接、広告主までお願いします。

早期再就職を考えている方へ…受講生募集!!

ハロートレーニング ～急がば学べ～

受講料:無料（テキスト代等は必要です）

募集期間　～令和８年12月11日(金)

1月期生

CAD・機械加工技術科　未経験でもOK! 機械CADを学ぼう 訓練期間6か月　15名

電気設備技術科【短期デュアルコース】　職場体験付きコース 概ね55歳未満の方が対象 訓練期間6か月　13名

まずは見学会へ! ポリテクセンターいわきを詳しく知ることができます!

原則 毎週水曜日 14:15～

詳細は、お近くのハローワーク又はポリテクセンターいわきまでお問い合わせください。

ポリテクセンターいわき（訓練課）
TEL.0246-26-1332 FAX.0246-26-1237
〒973-8403 いわき市内郷綴町舟場1-1
ホームページ https://www3.jeed.go.jp/iwaki/poly/

令和９年度 スポーツ施設年間調整

スポーツ振興課　☎22－7504

市スポーツ施設年間行事等調整基準に該当する大規模大会などの年間調整を実施します。

対象　同基準の第３次団体に該当する団体

申込方法　市ホームページ掲載の使用計画表に必要事項を記入し、使用施設の窓口へ提出

申込期間　12/１㈫～11㈮

国指定史跡「中田横穴」の一般公開

文化振興課　☎22－7546

中田横穴は、古墳時代の彩色画を有する装飾横穴墓で、昭和44年の道路工事中に偶然発見された貴重な遺跡です。この機会にぜひご覧ください。

日時　11/29㈰　12：00～15：00
（最終受付は14：30）

場所　平沼ノ内字中田地内

※ウェブ上でも中の様子を見ることができるので、併せてご覧ください

▲VRツアー

障がい者作品展

障がい福祉課　☎22－7485

12月３日から９日までの障害者週間に先立ち、障がい者作品展を開催します。障がいのある方が制作した作品などの展示や販売を行います。ぜひご来場ください。

日時　11/27㈮～12/４㈮　10：00～17：00
（４日は12時まで）

場所　道の駅いわき・ら・ら・ミュウ１階
（小名浜辰巳町43－１）

いわきFCホームゲームにおける人権啓発活動

男女共同・多文化共生センター　☎41－9201

北海道コンサドーレ札幌戦において、偏見や差別のない、共生社会の実現に向けた取り組みを行います。また、場外特設ブースにてアンケートにお答えいただいた方に、限定啓発グッズを進呈します。

日時　11/29㈰　12：00～

場所　ハワイアンズスタジアムいわき場外特設ブース
（常磐水野谷町竜ケ沢308）

※グッズは数に限りがあります

女性に対する暴力をなくす運動

こども家庭課　☎27－8580

女性のさまざまな問題の相談に対応するため、身近な相談先として、女性相談支援員を配置しています。女性相談支援員が内容をお聞きし、必要な支援やできることを相談者と一緒に考えます。

相談先　同課（総合保健福祉センター３階）

秋季全国火災予防運動 ～火の確認　いい日を支える　いい習慣～

消防本部予防課　☎24－3941

■秋季全国火災予防運動（11/９～15）

秋の火災予防運動が始まります。空気が乾燥するこれからの時期は、火災が発生しやすくなりますので、一人一人が防火を心がけましょう。

■住宅用火災警報器の取付け支援

消防本部では、高齢者などを対象に「住宅用火災警報器取付け支援」を行っています。住宅用火災警報器の取付けについて、困ったことがあれば、お近くの消防署へご連絡ください。

※詳しくは、市ホームページで

燃やす大型ごみの受け入れ休止

清掃管理事務所　☎56－7963

次の期間中、北部清掃センターでの破砕設備の点検に伴い、燃やす大型ごみの受け入れを休止します。休止期間中は、南部清掃センターを利用してください。

休止期間　11/30㈰～12/５㈯

この欄は広告です。　内容についてのお問い合わせは直接、広告主までお願いします。

いわき泌尿器科では外来診療のWeb予約を開始しております

泌尿器科　腎臓内科　血管外科　内　科

Web予約

予約が埋まっていても受診できる場合もございます。
ホームページをご確認の上、お電話にてお問い合わせください。

公益財団法人ときわ会　いわき泌尿器科　〒973-8403 福島県いわき市内郷綴町沼尻62
ご予約はこちら ☎0246-27-5522

令和９年度 納税通知書送付用封筒の広告主

市民税課　☎22－7428

個人市・県民税（普通徴収）、軽自動車税、固定資産税・都市計画税、国民健康保険税の納税通知書送付用封筒に広告掲載を希望する事業者を募集します（広告主は入札で決定）。

内容　１枠あたり「縦７㎝×横14㎝」を４枠分（応募は１枠ごと）

申込期限　11/20㈭必着

※詳しくは、市ホームページで

第三次市空家等対策計画（素案）に対する市民意見（パブリックコメント）

住まい政策課　☎22－7593　FAX22-1291
✉sumaiseisaku@city.iwaki.lg.jp

空家等対策の一層の実効性確保と地域課題の解決を目指し作成した「第三次市空家等対策計画（素案）」に対する市民意見を募集します。

応募要件

次のいずれかに該当する方

・市内に住所を有する方
・市内に事務所または事業所を有する個人または法人その他団体
・市内の事務所または事業所に勤務する方
・市内の学校に在学する方

資料の公表

・市ホームページへの掲載
・同課（本庁舎６階）に備え付け
・本庁舎１階市民ホール、各支所に備え付け

応募方法　任意の様式に、意見、住所、氏名、電話番号を記入し、〒970-8686　同課へ（FAX✉直接持参可）

※個人名などを公表することはありませんが、必要事項の記入がない場合「意見」としての取り扱いはできません

応募期間　11/25㈫～12/９㈫消印有効

「東京電力・福島第一原子力発電所の廃炉に関する対話」の参加者

原子力損害賠償・廃炉等支援機構　☎03－5545－7103

廃炉の進捗状況について、さまざまな疑問にお答えする対話の会を開催します。廃炉の今後について一緒に考えましょう。

日時　11/27㈮　18：00～19：30

場所　産業創造館　企画展示ホール（ラトブ６階）

申込方法　申込フォームまたは電話で

※当日参加も可

児童虐待防止啓発講演会の受講者

こども家庭課　☎27－8596

日時　11/23（月・祝）13：30～15：30

場所　総合保健福祉センター　１階多目的ホール

対象　子育て世帯、児童福祉に関心のある方

定員　100人（先着順）

演題　こどもとの関わり方のヒント～わが子のために知っておきたい心の成長～

講師　安部　郁子氏（福島学院大学福祉学部　特任教授）

申込方法　申込フォームまたは同課へ電話で

申込期限　11/19㈭

家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」ボランティア養成講座の受講者

こども家庭課　☎27－8597

妊婦や未就学児のいる家庭を訪問し、ボランティア活動を行う方を養成する講座を開催します。

日程　11/17・24、12/１・８・15・22の火曜日

※全６回＋別途最終面談

時間　９：30～15：30（日程により10：00～）

場所　NPOこみゅーん事業所（平谷川瀬２丁目11-12）

対象　子育て経験があり、本講座受講後に訪問支援のボランティア活動が可能な方

定員　10人（先着順）

申込方法　同事業所へ☎（23-3303）または✉（homestart-commune@vesta.ocn.ne.jp）で

申込期限　11/16㈰

保育士・幼稚園教諭等復職・就職支援研修会の参加者

保育・幼稚園課　☎22－7437

現在は保育施設等で勤務していない、いわゆる潜在保育士・幼稚園教諭の方を対象に、保育施設などへの再就職を支援する研修会（現場研修も可能）を実施しています。

日程　①講義＝11/24㈫
②現場研修＝講義受講後、参加者が希望する平日

時間　①９：15～12：00　②半日程度

場所　①文化センター　②市内保育所・幼稚園など

対象　保育士・幼稚園教諭の資格を有し、現在就労していない保育士・幼稚園教諭、資格は無いが、保育所・幼稚園での仕事に興味がある方など

定員　20人程度（応募多数時抽選）

申込方法　同課へ電話か申込フォームで

申込期限　11/17㈫

医療センター看護専門学校 一般入学試験の受験者

医療センター看護専門学校　☎27－1200

試験日　来年１/８㈮

場所　医療センター看護専門学校（内郷御厩町３-91-１）

対象　高等学校を卒業した方または来年３月に卒業見込みの方など

募集人数　20人程度

受験料　５千円

申込方法　封筒（角型２号）に必要な出願書類を入れ、簡易書留で〒973-8402　内郷御厩町３-91-１　同校へ

申込期間　11/27㈮～12/３㈫消印有効

令和８年度 ひきこもり講演会

保健所地域保健課　☎27－8557

日時　11/28㈯　13：30～15：30

※15：40～16：30は個別相談会を実施（若干名）

場所　総合保健福祉センター（１階多目的ホール）およびオンライン（Zoom）

定員　会場100人、オンライン100人（各先着順）

演題　ひきこもりと向き合うヒント～当事者・家族のための講演会～

講師　千葉　桂子氏（NPO法人ビーンズふくしま）

申込方法　同課へ電話または申込フォームで

申込期限　11/20㈮

11/８は「いい歯の日」歯ピカリphotoコンテストの作品

保健所地域保健課　☎27－8594

「お口の健康から広がる笑顔と幸せ」をテーマにした写真を募集しています。日常の何気ない１枚をお待ちしています。

各賞　最優秀賞１点、優秀賞２点、特別賞各部門２点程度

対象　市内在住および在勤、在学している方（年齢不問）

申込方法　申込フォームで

申込期限　12/20㈰

▲申込フォーム　▲市ホームページ

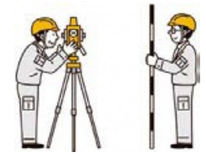
地図作成にご協力を

福島地方法務局不動産登記部門　☎024－534－2048

福島地方法務局では、復興・防災事業などに寄与するため、土地一筆ごとの境界を確認して測量を行い、境界線を正確に再現できる地図の作成を進めています。境界の調査への立会いなど、ご協力をお願いします。

実施時期　①事前調査・基準点設置・測量作業：８月～（実施中）
②一筆地調査立会い：来年５月～

実施地区　平の一部（九品寺町ほか周辺地区、五色町ほか周辺地区、北白土ほか周辺地区）



募　集

女性活躍推進セミナーの参加者

男女共同・多文化共生センター　☎41－9201
✉danjo-kc@city.iwaki.lg.jp

「よりそう」をキーワードに社員を育み、一人一人の成長と幸せを大切にする職場環境づくりに向けた取り組みをお伝えします。

日時　12/16㈬　13：30～15：30

場所　文化センター　３階大会議室

対象　市内の企業・団体関係者など（一般の方も可）

定員　50人（先着順）

演題　それは「えっ日本一社員の喜ぶおしぼり会社って!?」から始まった・・～社員がいきいきと働ける職場をつくるために～

講師　吉野　のぞみ氏（株式会社ヴィオーラ　専務取締役）

申込方法　講座名、住所・氏名・企業団体名・所属・役職・電話番号を記載し同センターへ✉で（申込フォーム可）

申込期限　12/４㈭

この欄は広告です。　内容についてのお問い合わせは直接、広告主までお願いします。

市民の健康教室

呼吸器外科医療録⑧

高齢者の肺がん手術

高齢化社会の日本で、75歳以上の後期高齢者の肺がん患者さんは全体の半数以上を占めています。

20年前は80歳以上の患者さんへの肺がん手術は６％にすぎませんでした。

現在は、胸腔鏡手術により傷が小さくなり痛みや術後の負担が軽減したことや、切除する肺を縮小し肺機能を温存することで、術後のストレスが以前よりも格段に改善しています。さらに手術に耐えられる体力を持っている高齢の方が増えてきました。

80歳というだけで手術を断念することはありません。もちろん、高齢者になればストレスに対する予備能力は減ってきますが、元気で自立していて治療の意欲のある患者さんでは若い患者さんと同じ治療が可能になってきています。

高齢で一人暮らしの患者さんは増えていますが、あらかじめ術後の生活環境を整え、地域や家族のサポートを得ることで、手術後も自立した生活をしている方は多くいます。

けんこうQ&A　在宅医療⑧

急に具合が悪くなったらどうするの？

在宅療養では「急に具合が悪くなったらどうすればよいのだろう」と不安に思われる方も多いでしょう。しかし、急な体調変化への対応は、その時になって考えるのではなく、元気なうちから準備しておくことが大切です。

在宅医療では、病状や生活の状況、ご本人やご家族の希望を踏まえ「どのような時に医療機関へ連絡するか」「救急搬送が望ましい場合はどのような時か」などを、あらかじめ担当の医師と相談しておくことができます。また、対応に迷った時には、担当の医師や訪問看護師に相談することもできます。

病状によっては救急搬送が適切な場合もあれば、ご本人が住み慣れた自宅での療養を希望され、その方針に沿って対応する場合もあります。

大切なのは、いざという時に慌てて判断するのではなく、ご本人・ご家族・医療者が事前に十分話し合い、対応方針を共有しておくことです。それが、安心して在宅療養を続けることにつながります。

提供・問い合わせ　（一社）いわき市医師会　☎38-4201　　かかりつけ医の紹介・相談は、医師会事務局へ

福島県復興公営住宅の入居者

県営住宅管理室（いわき地区）☎35－1733

県では、原子力災害により避難指示を受けている方などが、低額な家賃で入居いただける復興公営住宅を整備しています。

対象　東日本大震災の地震・津波被害者、平成23年３月11日時点で中通り、浜通りに居住していた方など
※住宅に困窮していることが要件
申込期間　12/１㈫～７㈪必着
申込方法　申込書に必要書類を添えて〒970-8026　平字梅本15　同管理室へ（直接持参可）
※応募多数時抽選
※募集住宅の詳細は、各地区の県営住宅管理室ホームページをご覧ください
（11月下旬掲載予定）

相　談

空き家と住まいの相談会

住まい政策課　☎22－7593

空き家の管理や利活用、相続、リフォームなどの相談を各種専門家がお受けします。

日時　12/12㈯　13：30～16：30
場所　中央台公民館　大会議室（中央台飯野四丁目5-1）
対象　市内の空き家などを所有または管理する方等
申込方法　NPO法人いわき市住まい情報センターへ
☎（84-5341）・FAX（84-5342）・窓口（平字童子町２-10）・申込フォームで
申込期限　12/４㈮

多重債務者無料法律相談会

消費生活センター　☎22－0999

消費者金融、クレジットカードなどから借り入れしたものの、返済が苦しくなり、他の貸金業者から借金を繰り返し多重債務者となってしまったケースが増えています。一人で悩まずご相談ください。

日程　12/１・８・15・22の火曜日
時間　10：00～12：00
場所　消費生活センター（平字一町目１　ティーワンビル4階）
相談時間　30分程度／人（予約制）
申込方法　各日程の前の週の金曜日午前中までに同センターに電話で
※問合わせの上、相談カードの提出が必要

今月号の表紙

夏井川の水は、平浄水場で水道水に生まれ変わり、平の市街地を中心に市内へ届けられています。こどもたちの笑顔と毎日の暮らしを支える大切な水です。

いわき産業創造館創業者支援室（インキュベートルーム）入居者

いわき産業創造館　☎21－7570

創業・事業化を目指す方へ！いわき駅前（ラトブ６階）のオフィスを低廉な料金で利用しながら、専門家による経営・事業化支援を受けられます。

あなたのアイデアと挑戦を、いわきから始めてみませんか？

対象　現在創業準備中の方、創業後間もない方（創業５年以内）など
募集部屋数　４室
※12月中に一次・二次審査あり
使用料　月額15,020円～
入居可能日　来年１月１日以降
申込方法　二次元コードから申込書を入手し、必要事項を記入の上、〒970-8026　平字田町120（ラトブ６階）同館へ（直接持参可）
申込期限　11/20㈭消印有効
※起業をお考えの方はお気軽にご相談ください

▲インキュベートルーム

福島空港発着便で行く台湾旅行説明会の参加者

福島県空港交流課　☎024－521－7127

美味しいグルメとノスタルジックな絶景が待つ魅惑の「台湾」へ出かけませんか？旅のプロフェッショナル阪急交通社が、福島空港発着で大満足できる極上の台湾旅を大解剖します！ガイドブックだけでは分からないリアルな現地の魅力に、参加するだけでワクワクが止まらなくなるはずです。

開催日　11/20㈭
時間　①午前の部 10：30～11：45
②午後の部 14：30～15：45
場所　文化センター　２階中会議室
定員　各47人（先着順）
申込方法　申込フォームまたは☎（0570-06-8989）で（月～金９：30～17：30、土日祝９：30～13：30）
申込期限　11/18㈬

広報いわき／毎月1日発行
編集・発行／いわき市

◆広報いわきに関する皆さんからのご意見お待ちしています
TEL 0246(22)7402　FAX 0246(22)7469

◆市政全般に関するお問い合わせ
総合コールセンター　TEL 0246(22)1111　FAX 0246(22)1113

11月1日～12月15日　休日当番医など

お問い合わせ
医療対策課　☎27-8572
または　各医療機関

月/日	診療科	医療機関（※診療協力医）	電話番号	診療時間
11月1日(日)	内科等	山口医院※（平）	24-1811	9時～17時
		まつはし内科クリニック（平）	68-8031	
		中村病院（小名浜）	53-3141	
		櫛田病院（勿来）	63-3202	
		春山医院（常磐）	44-4011	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
	眼科	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
	小児科	相原小児科医院（内郷）	26-5551	9時～12時
11月3日(火)	内科等	かしま病院（小名浜）	58-8010	9時～17時
		松崎内科（勿来）	63-3358	
		常磐病院（常磐）	81-5522	
		高坂脳外科クリニック（内郷）	85-0333	
	整形外科	小池整形・外科内科胃腸科※（内郷）	26-3388	9時～15時
11月8日(日)	内科等	磐城中央病院（小名浜）	53-3511	9時～17時
		呉羽総合病院（勿来）	63-2181	
		いわき湯本病院（常磐）	42-3188	
	形成外科	のぐち形成外科クリニック※（平）	46-2311	9時～12時30分
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
	眼科	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
	小児科	こんない子供クリニック（小名浜）	73-8815	9時～12時
11月15日(日)	内科等	山口医院※（平）	24-1811	9時～17時
		洋向台クリニック（小名浜）	55-5150	
		いわき記念病院（勿来）	63-5141	
		大樂クリニック（常磐）	85-5916	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
	眼科	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
	小児科	こどもクリニックすずき（小名浜）	56-6336	9時～12時
11月22日(日)	内科等	まつはし内科クリニック（平）	68-8031	9時～17時
		みちや内科・胃腸科（小名浜）	58-4180	
		櫛田病院（勿来）	63-3202	
		箱崎医院（常磐）	42-3131	
	整形外科	相田整形外科※（平）	35-0808	9時～12時
	形成外科	のぐち形成外科クリニック※（平）	46-2311	9時～12時30分
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
	眼科	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
11月23日(月)	内科等	かしま病院（小名浜）	58-8010	9時～17時
		すけがわクリニック（勿来）	77-0710	
		いわき草木台総合クリニック（常磐）	28-1145	
		ごらい耳鼻咽喉科（内郷）	85-5031	
		須田医院（内郷）	27-6060	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
11月29日(日)	内科等	中山医院（小名浜）	55-8141	9時～17時
		呉羽総合病院（勿来）	63-2181	
		織内医院（常磐）	44-1133	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
	眼科	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
	小児科	おおはらこどもクリニック（勿来）	63-0001	9時～12時
12月6日(日)	内科等	山口医院※（平）	24-1811	9時～17時
		中村病院（小名浜）	53-3141	
		いわき記念病院（勿来）	63-5141	
		せき整形外科クリニック（常磐）	84-9905	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
	眼科	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
	小児科	しがこどもクリニック（小名浜）	58-5505	9時～12時
12月13日(日)	内科等	なかの循環器内科クリニック（小名浜）	88-1093	9時～17時
		櫛田病院（勿来）	63-3202	
		いわき湯本病院（常磐）	42-3188	
	泌尿器科	常磐病院※（常磐）	81-5522	9時～15時
	眼科	中央台たなか眼科※（平）	29-1722	9時～14時
	小児科	あおぞらキッズクリニック（小名浜）	85-5439	9時～12時

●診療の受け付けは、診療終了時刻の30分前までです。
●症状や当直医師の専門科によっては診療できない場合もあります。
適宜受診前に医療機関へお問い合わせください。
●当番医が急きょ変更となる場合があります。
事前に医療機関または消防テレホンガイド（☎050-1808-6119）にお問い合わせください。市ホームページでもご覧いただけます。
●この他にも診療している医療機関があります。
詳しくは、福島県医療情報ネット（ナビイ）をご覧ください。

【休日夜間急病診療所（内科・小児科）】

総合保健福祉センター隣　☎27-1208
平日：20時～23時　土曜日：19時～23時　日曜日：14時～18時、19時～23時　祝日：9時～13時、14時～18時、19時～23時

【休日救急歯科診療所】

総合保健福祉センター内　☎27-8620
日曜日、祝日：9時～12時、13時～16時（受付終了時間15時30分）

【県こども救急電話相談】

☎024-521-3790　または　#8000（プッシュ回線・携帯電話）
毎日　18時～翌朝8時

【県救急電話相談　～病院に行く？ 救急車を呼ぶ？ 迷ったら～】

☎024-524-3020　または　#7119（プッシュ回線・携帯電話）
毎日　24時間対応
こんな時に相談できます。
・ケガをしたけど、病院に行くべきか？
・夜間で病院がやっていない。どうしよう…。
・こんな症状で救急車を呼んでいいのかな？　など

●かかりつけ医を持ちましょう
●コンビニ受診はやめましょう
●救急車は適正に利用しましょう